

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			営業時間内、管理者(児童発達支援管理責任者)、保育士、支援員、計3名以上を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか		○		2階スペースへは階段利用。歩行不安定の児童はバリアフリーである1階で過ごしている。
業務改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く参画しているか	○			環境設定等において、可能な限り対応している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し業務改善につなげているか	○			家族からの指摘、助言等から、改善するべき点には対応している。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		現在、HP変更に伴い掲載はないが、障害福祉サービスかながわ内に自己評価、及び保護者向け満足度調査実施日記載と共に、事業所内に結果掲示、公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部、保育士、学校教諭、臨床心理士等、共に支援に介入してもらい助言をもらっている。
	⑧	職員の資質の向上を行う為に研修の機会を確保しているか	○			年に2~3回以上の研修、及び連絡会での研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い事もと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			6か月に1回以上の面談を実施している。また、日々の利用時の情報交換を行い支援計画に反映している。
	⑩	子どもの適応行動を図る為に標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			本人、家族、学校教員からの希望や情報等をもとに、支援員間で話し合いを持ち課題提供を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しない様工夫しているか	○			各児童に対して2つ以上の課題を提供している。情緒や体調等に配慮しながら、サービス提供時間前に本人と話し合い、その日の課題を決めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			全職員が当日に担当した児童の記録を記載し、それを元に情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービスの見直しの必要性を判断しているか	○			

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		家族、学校、事業所との3者の話し合いは必要に応じて開催している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子ども受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか		○		直接主治医とのやり取りはないが、必要に応じて病院のMSWや看護師が作成したサマリー等を家族を介して取り寄せている。また電話連絡等で情報交換を行い対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新規利用前に本人の特性、家庭環境等の情報をもらい、それに基づき対応を考えている。
	㉔	学校卒業後し放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者だけではなく、各学校の進路担当者に対して情報を提供。また、進路先として福祉サービス事業所の提案をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	○			先方の受け入れ態勢が確立してなく、児童クラブ等との交流の場は設定していない。一般児童が利用している施設(カルチャーセンターや公園、また体験型施設)へ積極的に外出し交流を図っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあひ子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎等の際に、その都度情報交換を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			障害特性を把握されていない家族には、特に接し方や声掛けの仕方、障害特性から読み取れる得意不得意等を助言している。それらが虐待防止にもつながっている。
保護者への説明責任	⑳	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程、重要事項説明書等については事業所内に掲示。また日々の様子や支援内容については利用日にその都度行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			まずは保護者からの相談内容を聞き、その後各支援員、臨床心理士からの見解、必要があれば学校教員からの情報をもとに、多角的な視野で助言をしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	当事業所の保護者の特性から、保護者会や保護者同士の連携を促す機会は設定していない(※各保護者からの希望(満足度アンケートより))。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			即座に謝罪と共に改善を行っている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		不定期だが、季節ごとに活動内容を「愛ベリー通信」として報告している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	○			児童だけではなく、保護者の特性も的確に把握した上で、話し方、タイミング、連絡方法等、保護者によって使い分け配慮している。

	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			愛名やまゆり園等のイベント(お祭り、研修等)への紹介を積極的に行い、参加を促している。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			愛名やまゆり園のマニュアルに準じた内容、特に緊急時対応マニュアルは契約時、避難訓練時に保護者の参加型の計画を立て実施し理解を深めている。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要の訓練を行っているか	○			
	④0	虐待を防止する為職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○			
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象の児童なし。
	④2	植物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか			○	医師からの直接的な所見はないが、家族との面談(モニタリング)の際にアレルギー等を聞き取り対応している。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例があった翌日には、サービス開始前のミーティングの際、また日々の「デイリースケジュール」に記載し情報共有を行っている。

	はい	どちらとも いいない	いいえ
43項目合計	35	6	2